

# Campus Today



## 社会からの信頼を得て大樹となれ

### 松本歯科大学〔歯学部・大学院・衛生学院〕卒業証書並びに学位記授与式を挙げる

2017年度松本歯科大学（歯学部・大学院・衛生学院）の卒業証書並びに学位記授与式が2月8日（木）、本館7階講堂において挙行され、歯学部、衛生学院歯科衛生士学科の卒業生および大学院歯学独立研究科の修了生（博士学位取得者）合わせて102人が式に臨んだ。講堂はご父母、法人役員、教員らで埋め尽くされ、厳粛な雰囲気の中、晴れの日を大学全体で祝福した。

式は校歌斉唱で始まり、全員で校歌『あ、渺々の蒼穹に』を高らかに歌いあげた。黒い角帽にガウンをまとった歯学部卒業生は一人ずつ呼名されて登壇し、川原一祐学長から卒業証書・学位記が手渡された。卒業証書・学位記は国立印刷局で特別に印刷された貴重なもので、同印刷局謹製のB3判用紙上部中央には日本国の紋章として用いら



一人ひとり呼名され川原学長より卒業証書並びに学位記を授与される歯学部卒業生

研究科長から学位記が、衛生学院卒業生には笠原悦男衛生学院院长から卒業証書が手渡された。

矢ヶ崎雅理事長は挨拶で「思いやりの心で患者さんに接し、優しい心で愛のある人になってほしい。患者さんへの感謝の気持ちと微笑みを忘れないでください。楽しく朗らかにこれからの人生を歩みましょう。そして立派な歯科医師として、また良き哲学者となり幅広い人間となることを願っています」と激励した。衛生学院卒業生には「学校で学んだことを糧としてさらに研鑽し、立派な歯科衛生士となつて下さい」とはなむけの言葉を贈られた。

### 友や恩師と惜別の宴―謝恩・祝賀会

午後6時からは卒業、修了生の謝恩・祝賀会が、図書会館1階エントランスホール特設会場において催され、ご父母や法人役員、教員ら合わせて約200人が出席した。オープニングは清野倭司君（第3学年）のピアノの調べに合わせて、岡藤佳佳さん（第5学年）と金唯眞さん（第4学年）がバイオリン演奏で華を添えてムードを高めた。司会進行は卒業生の中上絵美子さんが務め、矢ヶ崎雅理事長が祝辞を述べた後、川原一祐学長の乾杯の音頭により開宴した。

会場には東京浅草「金大旅館」のケータリングや本学のフレンチレストラン「雷鳥」・中国料理レストラン「スターダスト」の料理がbuffet形式で並び、卒業生らはご父母や教員と大学生活を振り返りながら歓談した。宴たけなわとなったところ、在学生有志によるエイサー舞演が披露され、大きく鳴り響く太鼓



卒業生を代表しお礼のこぼすを述べる亀田さん



未来に向けてさらなる躍進を誓う謝恩・祝賀会参加者たち

内閣官房参与で本学常務理事・特命教授の飯島勲氏は、「皆さんはこれまで支援していただき、たご両親やご親族に恩返しをする立場です。立派な歯科医療人として、さながら『魔法の手』のような技術を磨いてほしい」と門出を祝された。

川原学長は「日々新しい情報が発信される現在、皆さんは鋭敏なアンテナを持って自らの知見を発信できる存在となり、社会において指導的な役割を果たしてください。社会から信頼を受ける人材となれば、おのずと皆さんの幹は太って大樹に成長できるでしょう」と告辞した。卒業生を代表して答辞を述べた亀田明希さんは「勉学やその他の活動のために最適な環境を整えてくださった創立者・矢ヶ崎康先生をはじめ諸先生方や職員の皆様、私たちを支えてくださったすべての皆様からのご高恩は決して忘れません。特に6年次の課外学習におきましては、矢ヶ崎雅理事長をはじめ、蒼穹会の皆様から学力向上のためにお力添えを賜り、御礼申し上げます。よき歯科医師となる前により人間たれ」という本学の教育方針を胸に抱き、生涯学習を怠らず、人々に信頼される歯科医師となり、社会に貢献していきたいと思えます」とさらなる研鑽を誓った。

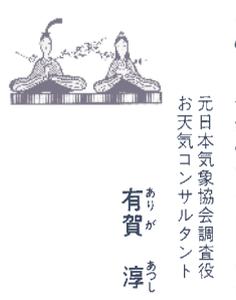
雨や曇りの日に、朝は暖かく感じるので油断していると、10時ごろからぞくぞくと寒くなりだすのはこのため。ただし、これは昼間のはなしで、夜はかえって曇っていた方が晴れの時より3度はかなり高い。雲が布団の役目をして、大地から大空への放熱をさまたげられるからである。

「花冷え」という「花曇り」との連想から曇った日の寒さ、「冴え返る」は晴れた夜の冷え込みの強さというようなものを感じさせるが、季節のほとんどは季節の進みぐあいに重点がおかれていて、一日の間の天気変化のために用意されたものはあまりないように思われる。

21日は「春分」。立春のころから上向きとなった気温のあがりかたも、春分のころからはいよいよ急ピッチとなる。このころから4月上旬にかけてが、年中で一番気温の上がり方が大きい時期。

「雨降れば雨も春めく昨日今日」（未曽二）

### お天気歳時記



冬をあいだ、しめつばなしにしておいた北向き窓をあけることのできるような陽気になれば、春もそろそろほんものになり、気持ちもだいぶくつろいでくる。

しかし、晴れていけば暖かさが曇っているとまだまだ寒さが身にしみる。日光の暖かさは雲のためにずいぶんじやまされるものである。東日本では今ごろだと晴れの日に比べて曇りの日は平均して3度ばかり気温が低く、雨の日は6度以上も低くなる。

お天気コンサルタント ありが 厚し 有賀 淳

# 名画で楽しむギリシア神話 ⑫

〔承前〕

プシケが宮殿に近づくと、人の姿はだれひとり見えないのに「お待ちしてました。どうぞお入りください」と声がした。「ここは私どもの主さまの館です。あなたさまを大切なお客さまとしてお迎えするように命じられています」という。

目に見えない召使たちは、なにもつと不自由なく面倒を見てくれた。そして、夜になると「主さま」がやってきた。「私がお前の夫だよ」と、暗闇のなかでプシケをやさしく抱いてくれるのだったが、明るくなる前に姿を消してしまう(図1)ので、その正体は全く不明だった。



図1 F.Picot: エロスとプシケ

「私の姿を見せることはできない。これからは見ないと約束しなさい。しかし肉親への情はもつともだから、姉を呼んであげよう」ということになった。

やがて、二人の姉を風が運んで来てくれた。彼女たちは、妹の無事は喜んだものの、不思議な館での暮らした3年ぶりのライブハウスで、奢な悪企みを吹き込んだ。「全く姿を見せないというのには怪しい。きつと恐ろしい怪物で、あなたを肥らせてから食べるつもりなのだわ。ぐっすり寝込んで

と、鋭利な小刀を手渡した。ある晩、ついに意を決してランプを灯したプシケが見たものは、おぞましい怪物ではなく、翼を生やした美しい青年の姿であつた。あまりの驚きに揺れたランプからは熱い油が彼、エロスの素肌を垂れた(図2)。

火傷の痛みが目覚めた彼は、「姿を見てはいけない」との誓いを破ったプシケに悲しい瞳を向けると、そのまま窓から飛び去っていった。



図2 J.Zucchi: エロスとプシケ

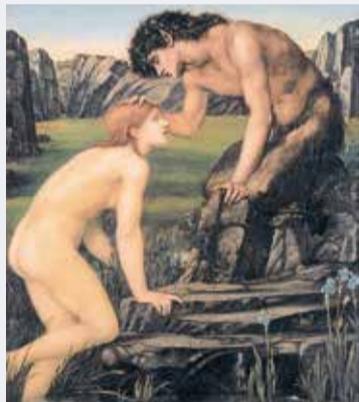


図3 Burne-Jones: パンとプシケ

川から救い上げてくれた牧羊(パン)にも諭されたプシケ(図3)は、エロスに一言でも謝罪をと、償いを求める長く苦しいさすらいの旅に出た。(つづく) (笠原浩)

## 軽音楽部が秋季定期演奏会を開催 3年ぶりのライブハウス開催で大盛況



来場者と一体となって盛り上がったライブ

2017年11月18日(土)、本市のSound Hall a.c.において開催しました。軽音楽部では夏季と秋季の年

2回、定期演奏会を開催しています。例年秋季はライブハウスをレンタルしていましたが、近年は部員の不足により叶わず、このたび3年ぶりのライブハウスでの開催となりました。

来場者は64人と多くの方にお越しいただき、部員も日々の練習の成果を存分に発揮することができました。1年生中心の初心者バンド「RAMMAY」は楽器を始めて半年ほどとは思えない演奏を披露してくれました。また5、6年生のバンド「Mugle 2」は見事な演奏で、来場者も一体となって盛り上がりました。他にも合計7バンドが出演し、軽音楽部一丸となって大盛況のライブを作り上げることができました。

今回の秋季定期演奏会を通して、ライブハウスのレンタルを含めた企画や運営など、貴重な

経験をすることができました。このような学業とは異なる社会的経験や交流は、コミュニケーション能力など歯科医師にとって必要な能力の向上にも繋がります。今後も活動を継続していきたいと思えます。

(軽音楽部主将 第3学年 小山 博)

### 第4学年共用試験CBTを実施

### コンピュータを用いて知識の理解度を評価

歯科医師の資格がない学生が、患者さんの協力を得て臨床実習に参加するためには、医療の安全や患者さんとの良好なコミュニケーション(OSCE)がある。臨床実習に必要な知識の総合的な理解の程度を、コンピュータを用いて評価するCBTの本試験が、2月1日(木)、キャンパスイン101教室において実施され、第4学年生69人が受験した。

共用試験運営委員長 北川純一

### 臨床実習に向け能力・適性を評価

### 第4学年 共用試験 OSCE



試験前日に行われたテストランの様子

共用試験運営委員長 北川純一

共用試験運営委員長 北川純一

共用試験運営委員長 北川純一

### MTBペタリング 随想記



元日二一五輪日本代表 鈴木 雷太

6年ぶりに訪れたその地域は驚くほど近代化が進んでいた。日本企業のスーパーや、アメリカ資本のコンビニにショッピングモール、ホームセンターなどどれもビックサイズで、タイの田舎とは思えない品ぞろえと豊富な商品群。一方で昔ながらの市場では以前感じた、僕自身行ったことがないはずの昭和初期の日本を思わせた。

なにより一番の変化は物価だ。トランジットで寄ったバンコクの街は東京と物価は変わらない、むしろ東京の方が安いと思えるほどになっていた。そして倍増と云っていいほど、大勢の欧米人観光客が目撃された。人が集まれば経済は発展する。しかし経済の発展を「便利」という一言で済ませずに、タイらしく柔らかな笑顔に、おっとりとした時の流れがいつまでも続いていると思う。

# 金銅英二教授らが12倍大の歯の模型教材を開発 歯科医学の教育現場や臨床での活用を期待



左から谷内講師、金銅教授、三溝技工士

口腔解剖学講座・金銅英二教授と入門歯科医学・谷内秀壽講師、三溝恒幸  
歯科技工士らは、3Dプリンターを用いて実物歯の12倍大の模型教材を製作  
した。ABS樹脂製のため軽量で、それぞれの歯の形態を正確に表現してい  
るのが特長。歯科医学の教育現場だけでなく、臨床でも活用が期待される。

金銅教授はこれまで、歯の  
デッサンシートや彫刻ステップ  
模型などの教育素材の開発に取り  
組んできた。特に模型教材は、  
複雑で多様な歯の形態を正確に  
理解し精密に表現していくには  
不可欠なものであるが、現在市  
販されている歯の模型教材（製  
品）は多く存在するものの、教  
科書で表現されている歯の特徴  
を正確に反映しているものが少  
ない。また歯の大きさも日本人  
の標準サイズを基準に作られて  
いるものがほとんどない。

そこで金銅教授らは、歯の形  
態に関する論文や、歯科医師、  
歯科技工士、歯科衛生士のため  
に出版されている歯の解剖学の  
教科書を徹底的に調査し、日本  
人の各歯のサイズ、形態（例  
「咬頭間角度など」）を標準化して



12倍大の模型教材

その値を数値化した。この数値  
を基準にして、論文や教科書に  
提示されている特徴を正確に再  
現した歯の模型を製作。3Dス  
キャナーにてその立体形状、表  
面形態を解析し、さらに精密な  
数値化に成功した。

## 小林泰浩教授と石原裕一教授が講演 全4回の聴講者に修了証授与 松本歯科大学市民公開講座

松本歯科大学市民公開講座は  
「健康寿命延伸 ― 歯科から考え  
る」をメインテーマに全4回  
シリーズで開催され、第3回目  
の1月20日（土）は総合歯科医  
学研究所硬組織機能解析学の小  
林泰浩教授が「自分の歯で食べ  
るために」と題して、最終回の  
27日（土）には歯科保存学講座  
の石原裕一教授が「知覚過敏の  
原因と治療」と題して講演した。

小林教授は、骨の強度が低下  
して骨折するリスクが大きくな  
る骨粗鬆症について解説した。  
破骨細胞と骨芽細胞によって骨  
がリモデリングするメカニズム  
を説明し、「50歳以上の女性の3  
人に1人が骨粗鬆症で、とくに  
閉経後に女性ホルモンが減少し  
て破骨細胞が活発になり、骨粗  
鬆症になりやすい」と警鐘を鳴  
らした。また、自身の研究につ  
いても触れ、タンパク質 Wnt5a  
が破骨細胞の形成に関与してい  
ることを見出し、その働きを抑制  
すれば骨粗鬆症や関節リウマチ

隣在歯との正確な接点の位置  
関係、鼓形空隙の形状なども分  
かりやすく理解できることから、  
これまでの4倍大模型教材に加  
え高い教育効果が期待される。  
このプロジェクトの成果は20  
13年に日本歯科医学教育学会  
にて論文発表済）

金銅教授は「これまでの歯の  
模型教材でよく認められた同一  
などにおける骨破壊を防げるこ  
とを明らかにした。さらに、歯  
の喪失原因の約半分は歯周病で  
あることを告げ、「歯を長持ちさ  
せるには歯槽骨を減らさないこ  
と。そのためにはブラッシング  
や定期検診を心がけましょう」  
と呼びかけた。

石原教授は、はじめに歯の構  
造を説明したうえで、知覚過  
敏（象牙質知覚過敏症）は「エ  
ナメル質あるいはセメント質の  
欠損により歯の表面に象牙質が  
露出して、そこに刺激が加わる  
と露出象牙質の知覚が亢進し疼  
痛を生じるもの」と定義した。

修了証を授与された方々と記念撮影

典型的な症状は、冷たい水を飲ん  
だり、歯科医院で歯に風を当て  
られたとき、あるいは歯ブラシ  
を当てたときなどに痛みを感じ  
る。原因としては、歯ぎしりや  
噛み合せの異常や歯の欠損、歯  
周病による歯肉の退縮、歯ブラ  
シの誤用などを挙げた。治療法  
では、歯磨剤やレーザーを用い  
た神経の鈍麻および象牙質管内  
容物の変性、薬剤塗布を加えた  
象牙質管の閉鎖を説明した。

恒例となった同講座には、今  
回14人が全4回を聴講し修了証  
が授与された。挨拶に立った川  
原一祐学長は「大勢の方々にご  
参加いただき嬉しく思います。  
口の健康は生きていくエネルギー  
を取り入れるため重要です。  
本学の専門家たちの知識・提言  
を健康長寿に役立ててください」と  
締めくくった。

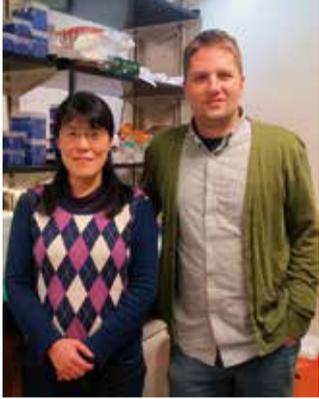
参加いただき嬉しく思います。  
口の健康は生きていくエネルギ  
ーを取り入れるため重要です。  
本学の専門家たちの知識・提言  
を健康長寿に役立ててください」と  
締めくくった。

## アメリカUNCC留学報告 研究もイベントも協力し合い充実した生活

総合歯科医学研究所 講師 中道裕子

2017年9月5日より在外  
研究員として、UNCC（フリス  
カロライナ大学）チャペルヒル  
校・ラインバークがんセンター・  
細胞生物学・生理学研究室に留  
学しております。目的は骨芽細  
胞分化に重要なWntシグナル  
下流における必須因子を同定す  
るため、遺伝子機能解析スクリ  
ーニングとリン酸化プロテオミ  
クスを学ぶためです。

私が留学する機会を得たのは、  
15年9月に募集のあった日本学  
術振興会の新設科研究費Ⅱ国際  
共同研究加速基金（国際共同  
研究強化）に採択されたからで  
す。その後、17年3月末にRE  
Major博士のラボへ採用面接に  
伺い、4月からの入室を快諾し  
た。滞在1週目のゲス



Major 博士（右）と筆者

22℃を記録しました。  
留学生活は初めから  
ドタバタ劇の連続です。  
乗り継ぎの空港では書  
類不備のため尋問を受  
け、レトルトビーフシ  
チューが没収されまし  
た。滞在1週目のゲス

トアパートでは、料理中に火災  
警報器がけたたましい音で鳴り、  
消防署員3人が駆け込んできま  
した。自動車免許の学科試験は  
猛勉強して合格しましたが、運  
転技能試験は落ちました。理由  
は一般道でのスピード超過だと  
言われました。

ラボのメンバーは仲が良く、  
研究もイベントもよく協力しま  
す。ボスの Major 博士は、思  
慮深く勤勉で指導力のある方で  
す。クリスマスにはラボ対抗の  
ドアドレーションコンテスト  
があり、特にハンドメイドの雪

の結晶に感心しました。クリス  
マス後はカラフルなハートが飾  
られていて、心が癒されます。  
今は、ガイドRNAを用いた  
遺伝子発現活性化システムによ  
る遺伝子機能解析スクリーニン  
グについて詳細に勉強し、系の  
立ち上げを行っています。予備  
実験を行っている、帰国後に  
松本歯科大学に是非取り入れた  
いと思うような装置とシステム  
が多々あります。金額的には、  
研究室単位で持つことが不可能  
なレベルのものもありますので、  
日本国内でコラボレーションの  
ネットワークを広めて使用でき  
るようにしたいと思っています。

留学中、私の大学業務を研究  
所および口腔生化学講座の方々  
に全面的にサポートいただいで  
おります。留学の機会を与え、  
多大なるご理解とご支援をいた  
だいている本学関係者の皆様に  
感謝申し上げます。

## プロフェッショナルの態度教育に向けた 第7回FD研修会

第7回FD研修会が1月25日  
（木）、本館601教室において  
開催され、東京女子医科大学第  
二生理学教授の三谷昌平先生を  
招き、「カリキュラム改定とア  
クティブ・ラーニングによる教  
育効果の向上」と題してご講演  
いただいた。

女子医大の教育は、統合カリ  
キュラム（基礎医学の水平統合  
と基礎と臨床の垂直統合）、チ  
ュートリアル教育（科学・医療の  
考え方、思考力学修）、人間関  
係教育（人間性・態度・倫理教  
育）の3本柱で構成されており、  
態度教育を重要視している。

女子医大で20年前から取り組  
んでいたPBL (Problem Based  
Learning) は、少人数の学生に

1人のチューターをつけていた  
ため、教員負担が大きく学生の  
理解度の修正ができなかった問  
題があった。そこで、現在は大教室  
を使用したグループ学習のTBL  
 (Team-Based Learning) を  
採用している。

TBLは、予習課題を提示し  
て、授業の最初に課題範囲のテ  
マを提示し、教員養成プロ  
グラムで指導方法や評価基準を  
共有している。さらに、学生の  
学ぶ姿勢に問題がある場合は早  
期に面談等で対応するシステム  
が確立されている。本学でも、  
プロフェッショナルとしての態度  
教育が特に必要であるため、今  
後の教育に向けて非常に参考と  
なる研修会であった。

講演する三谷先生  
（社会歯科学講座 教授 富田孝子）

